

11 江古田地区 78 江古田住宅自治会

町会活動

江古田住宅は昭和30年代に南側(今のバス停側)に、1号棟から順次建てられ、住宅は1号棟から15号棟まであり、12号棟と15号棟は分譲住宅で、ここの居住者は自治会への加入はしておらず、江原町町会へ加入しています。現在、分譲の棟を除き345世帯の入居可能数に対し、270世帯ほどが自治会の会員として加入しています。

自治会の運営は各棟より一人ずつ棟委員として選出され、13名の棟委員と会長・副会長を含めた15名が運営委員会として住宅の環境、資源集団回収、安心・安全のための防災など、住民のための運営に当たっています。役員は会長1名、副会長1名、会計監査2名、防災担当1名で行っています。

8月を除く毎月1回運営委員会を開催し、機関紙「運営委員会だより」を発行、全戸配布を行っています。特に3月には現委員と新委員との引継ぎを兼ねた会を開き、さらに中野区や野方消防署の協力を得て、秋には防災訓練、また、6月と12月に清掃活動を実施しています。

各棟の中にある、同じ階段を利用するグループの中からそれぞれ階段委員を設け、チラシの配布などを行っています。

毎年3回、午前10時から午前11時まで、集会室を使って「高齢者お誕生日会」を開催し、住民同士の交流を深めています。また、12月には歳末助け合い基金活動を行っています。

会員270世帯の中の高齢者が多くなり、自治活動を行う協力者が減って、また、期限がある定期借家契約の人が多くなり、自治会に入会しない人が増えているのが今の課題です。

江古田住宅も築60年以上になり、建替対象住宅になっており、自治会としての課題は大きなものが残っていますが、住民同士連携し、協力して一つひとつの課題に取り組んでいきたいと思っています。

